

東海林 剛

(民主クラブ)

■地域コミュニティが抱える課題と施策の推進

問 ①中心市街地、住宅街、農村部におけるコミュニティの課題をどう捉えているか②協働において、地縁団体である自治会の限界に対する見解と今後の方針③自治会と連携し共生できる自主集団の立ち上げと育成支援④地域毎の活性化プランの策定⑤地域のやる気を引き出す効果的な補助制度のあり方や、コミュニティ推進員の体制の見直し⑥コミュニティ活動を担う人材の育成確保について伺う。

答 ①核家族化、個人情報保護法の制定など個人を中心とした社会への意識変革によりコミュニティに対する意識の希薄化が進んでいる。②現状では活動の限界があると認識しているが、子ども、高齢者、災害時の相互扶助など地縁によらなければできない活動もある。③地域活性化を担う自主集団は地域活性化



地域行事の子どももちつき会

に大きな役割を果たすもので、住民が自発的に組織化されるとが大切で、行政はそのきづかげづくりを担う。④地域コミュニティのあり方を改めて検討していく必要があり、将来モデル的に地域コミュニティ活性化プランの策定は可能。⑤地域コミュニティの課題に対応する補助金制度の見直しは必要。地域コミュニティ推進員は活動を活性化する立場から、複数の配置体制や具体的活動の提起などの検討を進めていく。⑥コミュニティの人材は、一人いればよいのではなく複数が助け合う体制が不可欠。自主組織の組織化、運営などを通して自然と人材育成が図られるものと考える。

けづくりを担う。④地域コミュニティのあり方を改めて検討していく必要があり、将来モデル的に地域コミュニティ活性化プランの策定は可能。⑤地域コミュニティの課題に対応する補助金制度の見直しは必要。地域コミュニティ推進員は活動を活性化する立場から、複数の配置体制や具体的活動の提起などの検討を進めていく。⑥コミュニティの人材は、一人いればよいのではなく複数が助け合う体制が不可欠。自主組織の組織化、運営などを通して自然と人材育成が図られるものと考える。

総務文教委員会

■スポーツ振興について

本委員会は、第1回定例会で

「スポーツ振興について」の許可を得、スポーツの持つ力やスポーツ文化の有する素晴らしさなど「スポーツ力」について議論を深め、合わせて競技スポーツの振興、アスリートの発掘と育成の新たな視点で都市事例調査も行つきました。

富良野出身スポーツ選手の国

内外の各種大会での活躍は、市民に自信と誇りをもたらし、子供たちに夢と希望を与え、また市民一丸となつた応援の取り組みは、市内の活気が盛り上ることになり、新たなコミュニティの醸成が期待できます。

ささらに、本市の魅力が国内外に発信されることにより、体育の面に限らず、様々な波及効果が期待でき、市民に対して良い影響をもたらす原動力にもなります。

最大の課題はアスリー

トの活動資金の確保です。現実的な方策として、行政・民間企業・市民有志によるものなどが考えられますが、先に述べた波及効果を考え、時に市民総体でサポートするなど、その取り組みが自らの活動からスポーツ活動を支える楽しみへと新たな視点での広がりも期待できます。

スポーツ活動を継続的に実践・支援し環境を整備することは、スポーツ文化の振興となり本市の魅力をさらに引き上げ、その価値は無限大に広がるものと考えます。今後は競技スポーツ振興、アスリートの発掘・育成の視点を加えた新たなスポーツ振興に取り組むべきとの意見の一

全国高等学校選抜スキー大会風景
(於:富良野スキー場)